



ながい・ちえこ ●昭和40年12月生まれ、赤坂中野字宿ノ入在住。鯉川村社会福祉協議会・ひだまり荘勤務。趣味は読書。美容と健康を心掛けている。

義母をみとつてはや半年が過ぎます。在宅で義母を介護していくには、いろいろな方々の手助けがありました。訪問介護や訪問看護、訪問入浴、療養型短期入所施設、そして、忘れてはいけない「耳の会」の傾聴ボランティアさん、ふるさと事業の方など。いろいろな人に助けをいただき、最後まで義母を在宅で介護することができました。この紙面をお借りしまして、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

村民【随想】リレー ⑬

長井千恵子さん

義母をみとつて

しでした。朝、ミルクを家の中に入れてと真つ先に行くのが義母の部屋でした。ミルクが義母にまわりつきながら、義母のおしゃべりに付き合っているのが日課となっていました。心のどこかでつながつていたのでしょうか。

義母が亡くなった今でも遺影をじっと見ているミルクの姿を見ると、今でも続く二人の関係にやきもちをやきながら、うらやましく思うこのごろです。

次は、関根順子さん（西山字余所内）にバトンタッチ！

さめがわを 彩る集い 6

苦しい思いをしたあとの眺めが最高



YAMA大好き苦楽部

本郷弘義会長／会員 18名

YAMA大好き苦楽部は、公民館事業の登山教室に参加していた人たちの「登山教室は終わっても、登山を続けたい」という声があつたことになり、結成されました。今年で十年目となる今では、日帰りで行ける山はほとんど登り切ったと話します。

冬野菜摘み来て供える仏前に緑は匂う芳しきまで 満井 清乃
なまなかの覚悟ではなし熟年を生きるも日々々に畑を耕す 坂本 伊紀
竹島を実効支配されても尚 何を 何をしてるや日本の防衛は 一 平子
村祭り太鼓の音に浮かれしも今は 佻しく心にひびく 石井 幸子
わが願え叶えてと打つゲートボール球は上がりど入賞なりぬ 須藤シツエ
基準値を越えた一袋発覚でよくぞ風評沈黙を得たり 松本 一郎
今年また見事に増えし山茸皮肉なものよ食べられないのに 前田喜三子
中秋の夕暮れ迫る山並みに浮びし鉄塔あかねに染まる 藤田千代子
老いたれど振り向かずして前向きに友と手をとり楽しさ求む 関根ハナヨ
全袋検査のすみで送り出す安心安全のシールを貼りて 関根 富久
夕空を流れゆく雲見上げつつ今日も事なく余生を送りぬ 鷺野谷 満
村挙げて祭りに賭けるバイク ショー銀輪宙にと喚声の沸く 板橋 源良
出荷米みな一等になりましたよ遺影の夫のうなずく如し 関根キヌ子
ステックの絆で結ぶゲート場一球一打に勝敗の道 矢吹 一二
踏み締める朝露冷たく足に散る秋たけなわの畦道行けば 北條 平

Book

図書のお話

図書館からおすすめの本をご紹介します
鯉川村図書館（村歴史民俗資料館内）
☎ 49-3106

先生のお庭番

（朝井まかて著、徳間書店）



植木屋の下働きだった15歳の熊吉がシーボルトの薬草園の園長を任されることに。西洋に日本の美しい草花を根付かせたいという先生のために奮闘する物語です。やがて起きる「シーボルト事件」熊吉から見た先生の真意とは…。

としかんライオン

（ミシェル・ヌードセン著、岩崎書店）



だれでも入れる図書館には決まりがあります。いつも静かな図書館には大きなライオンがやってきました。お行儀の良いライオンはみんなと仲良しに。でもある日、決まりが守れなくなってしまいました。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

俳句

震災や一年九月うめもどき 中井 恒幸
ご無沙汰で始る便り冬間近 山本 恵子
ねころんでみたいな群青空の下 斎須 信子
寄せ来る秋の曇天不幸波 黒田 寿香
白河に杏子歓迎十三夜 土 竜 庵
押しかけて蔓延って背高泡立草 鈴木 米子
秋深し廊下の奥に陽が射して 松本 精一
肩も触れ話が弾むりんご風呂 前田 縫子
小鳥たち寒さのり越え春を待つ 小松ハル工
こぼれ大豆鳩が大方整理する 北條素人坂
被災二年目紋付鳥の来し安堵 山本五十鈴

短歌

広大な芝生が匂う三内丸山遺跡に 学童らの歓声訝す 鈴木イミ子
雪見なる障子を開けて見るばかり 年明けにして降り積もる雪を 前田 初
母親になりし孫なり素晴らしい子 を育てよと心に願う 佐藤 春枝
自然なる眺めに浴えて造るという 庭にある石は山を想わず 須藤 幸子
人生の門出は常にやつてくる例え 中年を過ぎたる今も 水野 珠子
紅葉に吹く風強し今少し散らさぬ ようにと心に眺む 関根 瑞恵

若者の広場 No.96

Young Plaza

渡邊 浩輔さん

■今、夢中になっていることは何ですか？

FMX（フリースタイルモトクロス）を見に行くことです。「うまいもの祭り」や「モトパーク森」などに行きます。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

バイクの免許を取って、友達とツーリングや旅行に行ってみたいですね。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

自分が小さかったころと比べるとイベントなどが増えて村が活気づいてきているなと思います。ただ、不

便だと感じることはあまりありませんが、街灯が少ないので村が暗いと思うことがあります。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

若い人が気軽に集まったり、村が盛り上がるような施設や店ができればいいなと思います。でも、自然豊かで緑が多いことや村民の優しい人柄、みんなが顔見知りといった「鮫川村らしさ」はなくさないでほしいですね。

■次は芳賀俊光さん（赤坂東野字唐露在住）の予定です。

「鮫川村らしさ」はなくさないで



わたなべ・こうすけ
平成3年7月12日生まれ 21歳
O型 かに座
趣味は車とドライブ
赤坂東野字唐ノ草在住

▼命の授業：五年生が増厚生
病院の助産師さんの指導により、命のはじまりと成長について学びました。

▼少年の主張・合唱部発表：
村公民館で鈴木楓花さん（六年）、我妻美空さん（五年）による作文発表や県大会に出場した合唱部のすばらしい発表がありました。

▼五年生収穫祭：米作り体験活動のまとめとして、保護者の協力により餅つきを体験し、温かい豚汁やお餅をたくさん食べました。

▼サッカー教室：プロのサッカー選手たちが五・六年生を対象に、サッカー教室を行いました。



サッカー教室

学校だより

(98)

鮫川小学校編

鮫川小、充実の秋！
「学校へ行こう週間」

- マラソン記録会二位入賞者
- 【二年】 男子/水野陽亮
女子/円谷結愛
 - 【二年】 男子/坂本大夢
女子/鈴木 結
 - 【三年】 男子/高野敦輝
女子/蛭田樹璃
 - 【四年】 男子/円井純一
女子/北條佑奈
 - 【五年】 男子/関根清也
女子/北條七海
 - 【六年】 男子/鈴木和之
女子/関根美可
- (文・写真/鮫川小学校)



マラソン記録会

の楽しさや技術を教えてくれました。

▼マラソン記録会・給食試食会：さわやかな秋晴れの下、これまでの練習の成果を発揮し、参加者全員見事完走しました。また、お昼は全
国学校給食甲子園入賞メニューを、
保護者の方々に各教室で試食していただき、大変好評でした。

着物で作った袖なしはんととネクタイで作ったバック。どれもリメイクとは思えません。



使 わなくなった物を縫い直して、必要な物を何でも作ってしまう本郷キミエさん。古くなった着物はもんぺやはんとん、帯やネクタイはバックなど、リメイクしたとは思えないほど完成度の高い物ばかりです。ただ何もしないでいるのが嫌だというキミエさん。十三年間、亡くなった旦那さんの介護をしていたときも、ベットの傍らで

裁縫や編み物をしていました。現在は、野菜などを作りながら、手の運動も兼ねて続けているそうです。外出したときやテレビを見ていてすきだなと思う物があれば、買うのではなく使わなくなったものを利用して見よう見まねで作ってしまいます。また、お孫さんや友人などに作ったはんてんなどをあげると、とても喜

ばれています。頼まれて作ることもあり、自分が作ったものを喜んでくれるのがうれしいと言います。「もつたいない」と何度か口にするキミエさん。新しい物を買うことはほとんどなく、捨てる物は何もないと言います。小さい布でさえアイディアひとつでリメイクをして、人に喜ばれるものに変えてしまいます。

むらの名人・達人 Vol.5

裁縫名人
本郷キミエさん
ほんごう・きみえ/西山字落合在住/83歳



愛用のミシンは3台目。どんどん縫い進めています。

捨てる物は何もないよ
リメイクすれば生まれ変わる